

# 峰のひかり

発行人  
 社会福祉法人 七峰会  
 理事長 奥田 稔  
 〒036-8356  
 青森県弘前市大字下白銀町21-8  
 電話 (0172) 33-8861  
 FAX (0172) 33-8862

## 新年あけましておめでとうございます。



## 設立30年の節目を超えて 21世紀のニーズに応える一歩を

社会福祉法人 七峰会 理事長 奥田 稔



先ずもって、当法人をご支援下さる多くの皆様はじめ、法人内の役員員の皆さんが、それぞれご健勝で新しい年をお迎えになられた事を心からお喜びお祝い申し上げます。当法人は、昨年11月16日をもって設立認可30周年を迎えました。ひと口に30年間といってしまうは簡単なことですが、今、当時を回顧すると、胸にこみ上げるものが

あり、走馬灯のように過ぎ去りし日々を思う事が出来ます。普通であれば、法人創設認可の翌年春には、法人の目的とする社会福祉事業現場が開設されるのですが、当時は第1次オイルショックに見舞われて資材の入手困難はその極みに達しました。各ご家庭では、トイレットパーパーも容易に買う事が出来なかつた事も今は笑い話となつていく様です。

加えて豪雪は工事を大幅に遅らせました。結果として、当法人第1号の施設である拓光園は昭和49年8月1日の開園となりました。今、法人事務局の窓外の景色は降り止まない雪に見舞われ弘前市文化センターの周囲の樹木はすっかり綿帽子に包まれて、30年前のあ

の日を思い出すにふさわしい光景を醸しております。

平成16年は、拓光園開設30周年を迎え、この間に私たちが果たしてきたという社会貢献の度合いは心から、市民、県民、国民の皆さんへ「この通りです」と、自信と誇りを持つてご報告出来るものだったか、一抹の不安を感じ得ません。時代は、この30年の間に大きく動きました。

発足当初は「施設収容」でありました。今は「この施設をいただいた」という個人の意志で契約し、ご利用いただく時代となり、更には「街の中で自分たちの意思で暮らしを立てる」事が当然だという時代になりました。ですから、当法人も、施設生活から「自分の意志で暮らせる生活の場」を沢山持つように努力し、4月からは尾上町猿賀の旭光園にも福祉ホーム基準に適合した住宅「さわら」を開設します。

更には、不自由不便を持つて生活している方々への支援のためにあらたな準備を開始しております。21世紀初頭のこの時期に、いろいろなニーズを持ち不自由を抱えている方々へ「生きる喜び」と「充実した人生」獲得へお手伝い出来る法人活動を進めたいと考えます。各位の一層のご支援を賜りますようお願い致します。



知的障害者  
更生施設

### 拓光園

## 楽しく クラブ活動

拓光園では、作業活動が休みとなる土日の利用者の余暇を支援するため、いくつかの取り組みを行っています。今回は、その中からクラブ活動の様子を紹介いたします。

クラブ活動は、2カ月に一回のペースで利用者全員が参加できるよう計画されています。ボーリングクラブ、カラオケクラブ、アウトドアクラブがあり自分で希望し

て選んだクラブに参加できるようになっています。

ボーリングクラブは、主に弘前市内のボーリング場でゲームを楽しみ、年一回は、商品をかけた大会も開かれています。中には、ガーターばかりの人もいますが、柵をするなどして誰でも楽しめるよう工夫をしています。利用者の方からは、

「楽しいのもつと多くゲームをしたい。」との要望も聞かれ、その声に応えていこうと計画しています。

カラオケクラブは、カラオケボックスに出かけ、各自自慢のものを披露しています。利用者の方に「園で歌うよりも雰囲気盛り上がる。」と好評です。それぞれの祭などを練習し、納涼祭や拓光園祭などで披露する機会を楽しみにしています。

アウトドアクラブは、自然に親しみながら体を動かすことを目的に、ハイキングをしたり、バーベキューをしたりと多彩なメニューで喜ばれています。戸外で楽しく過ごし、心身ともにリフレッシュされている様子です。

クラブ活動は、利用者の方々が、待ち望んでいる楽しい余暇活動です。これからも参加者の希望を取り入れながら、一層充実させるための支援を行ってまいります。

知的障害者  
通勤寮

### 拓心館

## 習い相遠し 副食購入訓練を通じて思うこと

「さあ、今夜は何を食べようか。」日曜日の午後、利用者の皆さんは頭をひねりながらも楽しげに出かけて行きます。晩ご飯のおかずを買いに、近くのスーパーマーケットに向かうのです。

拓心館では、昨年9月から「副食購入訓練」を開始しました。これは近い将来、地域生活に移行した時に役立つように、予算内で適切な惣菜を買い取ることができることを目指して行うものです。最低限のルールは、

- ① 週1回、日曜日の夕食用に実施。
- ② 一人ひとりの予算が決まっているため、4〜5人で1グループとなり、相談しながら購入する。
- ③ ご飯とみそ汁は拓心館が準備する。

ということになっています。

### 記念すべき第1回

9月7日、初めて買って来た惣菜はとても楽しい!?ものでした。魚の缶詰ばかり7種類10個を買ってきた「缶詰チーム」、焼きそば・焼きうどん、スパゲッティを取りそろえた「炭水化物チーム」、コロッケや魚フライばかりの「揚げ

物チーム」などなど、見事にバランスを度外視し、食の好みだけを反映させたものだったのです。

### その後の目覚ましい変化

一カ月を過ぎる頃には、皆さんは非常に工夫を凝らすようになりました。野菜が必ず入るようになったのは言うまでもなく、「サラダは高いから」と、キャベツを半玉で買ってきて自分たちで刻んでいきます。また、予算をきっちり使おうと、電卓をたたき、消費税の計算を覚えた人もいます。主菜に鶏の唐揚げ、副菜にほうれん草の和物をつけるなど、バランスもすっかりしてきました。

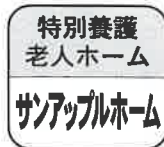
### 地域生活へ向けて

生活の基本は「衣食住」と言われます。細やかなことではありませんが、自分でできることが一つずつ増え、自信を持って行えるようになることは、その人の力に変わります。できないことはできないで良いけれど、今後いろいろな取り組みをして少しずつ力をつけてもらい、胸を張って地域生活に移行してほしいと考えています。



# もし、あなたが施設で暮らすとしたら……

## 個別・グループケアへの思い



あなたは、ご自身の老後をどのように描いていられるでしょうか。そして、みな様が施設を利用するとしたら、どのような生活を目指まれているのでしょうか。そんな視点から個別・グループケアがスタートしました。平成15年の春、ホームに4つの街が誕生しました。『南横町』、『ねぶた村』、『さくら町』、『アップルランド』です。住人（利用者）は、各町会20名強で、専任のスタッフが8名で構成されました。町名も利用される方と職員が共同してのネーミングでした。

お一人おひとりの生活を



支援するためには、安心感や信頼感を持つていただけるとを最優先にしました。結果として、生活グループの小規模化は、顔なじみによって、「寮母さん」から、実名を呼んでいただけの関係が芽生え始めています。

また、広い施設内空間に、部屋以外の居心地の良い、住み甲斐のある場所を見出していただけようになっています。現在は、食事や余暇活動などは、各々の町会スペースで行われています。個人の生活がその場で営まれるよう、また、存在感や生きがいを持つて過ごされるようにとの思いからです。このことで、徘徊など、俗に行動障害を持つ方々にも徐々に生活に安定がみられるようになってい

ます。

これらのように、施設サービス

を個人ごとの生活に重点を置き、本来の人間関係の構築の上に、小生活グループの中でサービスを提供し、提供するシステムを始めました。将来的には、更なる生活グループの小規模化、あるいは、施設内外といった生活支援の場、さらに、サービスの専門性向上等の課題があるといえます。他方、特養ホームは、「終の棲家」ではないとしても、終末期をどこで過ごすかといった社会的問題も実在します。これらを踏まえ、利用される方々の生活問題にお役立てできるように、その福祉的役割や機能をより一層、強化していきたいと思っています。



## 障がい児の訪問介護が始まります。

山郷館訪問介護センター黒石では、平成16年1月1日より、障がい者との知的障害者を対象としていましたが、新たに児童も対象として実施するものです。訪問による身体介護のほか、児童の外出等に関わる付き添い等の支援も行います。

山郷館では、施設及び各在宅サ

ービスを、

- ① 障害の種別に関係なく
- ② 児童から大人までそれぞれのライフステージでトータルに
- ③ ニーズのある地域で実施

できるような事を目標としています。

また、制度に基づくサービスはその種類や量、対象等によっていろいろな制約が伴います。そのような制約を補完しながら、制度では実施できないインフォーマルなサービスも整えていきたいと考えています。

利用者の地域生活に、本当に役立つサービスを提供できるように努力していきます。どうぞ皆様のご意見を積極的にお寄せください。

\*インフォーマルなサービスとは・・・

公的機関が行う制度に基づいた社会福祉サービスをフォーマルなサービス（ケア）と言います。その他に、近隣や地域社会、ボランティア等が行うサービスをインフォーマルなサービスと言います。

しかし、フォーマルなサービスだけではニーズに対応できないのが現状であります。それを少しでも補えるように、インフォーマルなサービスも含めて、さらなるサービスの拡大を考えていきたいと思っております。

身体障害者  
授産施設

旭光園

福祉ホーム  
建設着工

初雪のちらつく中、昨年11月末、今春4月のオープンを目指し、身体障害者福祉ホーム(仮称さわら)建設の工事が始まりました。

地域の方から生活支援センターへの問い合わせや、当園を見学された方から「障がい者でも安心して一人暮らしができ、通所で働ける所はないか?」と言う声が多く聞かれるようになりました。また、旭光園利用者50名の方に、生活についてのアンケートを取ったところ「一人暮らしをしてみたい」「もう一度自立した生活に戻りたい」という考えを持ちながらも、「いきなりの一人生活は不安が大きく今ひとつ踏み切れない!」との思いが強いことが分かりました。福祉ホームは、そんな地域の方々や、旭光園の利用者の思いに応えるため、地域生活支援活動の環境として計画し建設に至りました。「(仮称)さわら」が完成すると、青森県内で2番目のホームになります。全室個室、7部屋(約10畳)それぞれには、車椅子の方でも炊事のできるキッチンやシャワー室・トイレを完備します。ま



た、共有スペースとしては浴室・洗濯室・談話室があり、個人の空間と家庭的な空間にできる限り配慮しました。

一人で快適な生活のできるバリアフリーのワンルームマンションですが、生活する上で様々な問題が生じたときは、必要に応じて隣接の旭光園が24時間体制でバックアップします。また、働く場として就労センター旭光園を通路利用することもできます。

障がいをもっていらっしゃる方が自立した生活を送ることは大変なことも多く、不安が先に立ちます。先ずは福祉ホームを利用することで、自立への自信をたくわえ、次へのステップに繋がる場にして行きたいと思えます。

七峰会後援会コーナー

新年を寿ぎ七峰会後援会々員の皆様の益々のご繁栄ご健勝をお慶び申し上げます。平成16年は、昨年から続くイラク問題や年金問題・失業問題等々多くの問題を引き継いでの年明けとなりました。

七峰会としましては昨年に引き続き懸案の事業を進める為に多忙の年となりそうですが更なる躍進の為に準備期間として、有意義な一年に致したいと思っておりますので一層のご支援をお願い申し上げます。

さて「峰のひかり」第27号でもお知らせ申し上げましたが、今年の定時総会には、拓心館グループの紹介を致すべく現在ビデオ製作に努力致しております。是非多くの会員の皆様のご参加をお待ち致しております。

尚、現在会員の皆様の会費につきましてはご理解を頂き85%の納入率となりました。未納の方々につきましても早めの納入をお願い申し上げます。申し上げて報告と致します。

<p><b>総合支援</b></p> <p>弘前市委託事業 弘前市障害者生活支援センター TEL 31-2400</p> <p>青森県指定 津軽障害者就業・生活支援センター TEL 82-4520</p>	<p><b>知的障害者援護</b></p> <p>拓心館 TEL 82-4520 地域生活援助事業 生活自立訓練事業 地域生活支援センター 勇心学園 ジョブコーチ支援事業 光園 TEL 96-2331 自活訓練事業 拓光園デイサービスセンター 拓光園短期入所支援センター 拓光園障害児短期入所支援センター</p>	<p><b>身体障害者援護</b></p> <p>旭山郷館 TEL 97-2211 身体障害者(児)短期入所事業 山郷館デイサービスセンター 山郷館デイサービスセンター 山郷館訪問介護センター 山郷館訪問介護センター 山郷館訪問介護センター 山郷館訪問介護センター 黒石通所相互利用事業 旭光園 TEL 57-5155</p>	<p><b>特別養護老人ホーム</b></p> <p>サンアップルホーム TEL 97-2111 サンアップル短期入所生活介護センター サンアップルホームデイサービスセンター サンアップルヘルパーセンター グループホームアップル (痴呆対応型共同生活介護) 弘前市委託事業 サンアップル在宅介護支援センター TEL 97-2131</p>	<p><b>居宅介護事業</b></p> <p>山郷館居宅介護支援センター TEL 97-2941</p> <p>サンアップル居宅介護支援センター TEL 97-2131</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------